



令和6年度芸西村学校運営協議会
芸西中学校

令和6年5月9日

年度初めにあって

- 生徒に学びを！
- 教職員にやりがいを！
- 保護者に安心を！
- 地域に希望を！

生徒につけたい力

自立

自分でできる
一人でできる

協働

みんなとできる
一緒にできる

共生

誰とでもできる
誰のことも大事にできる

行動指針

1 安全・安心

2 礼儀正しさ

3 学び

4 効率

教員に求めたい力

授業力

生徒理解力

保護者対応力

1 知（学力向上）

(1) 組織力向上

毎週1回のチーム会や隔週のチーム長会をもとに、生徒の授業改善や生徒の学力向上に向けて取り組んでいく。またチーム編成においても「知・徳・体」の担当を兼ね、授業改善だけでなく、研究推進の両輪で行えるように構成している。

(2) 教科共通の取組

全教科で共通した授業で大切にしたい項目（教科共通の取組）を9つ作成。その中から各チーム会で毎月重点項目を設定し、教師の授業改善に取り組む。また、同様に昨年度末に生徒版の教科共通の取組を、生徒会執行部と作成した。

チームA（知）	チームB（徳）	チームC（体）
◎数学・英語・社会	◎理科・社会・国語・美術	◎保体・音楽・養護

図1 教科共通の取組（教師用）

教科共通の取組(指導と評価の一体化)

「指導と評価の一体化(ルーブリック(ゴール)を明確に)」

- ①育成を目指す資質・能力を明確にする。(何を理解しているか/何ができるか/どう使うか/どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)
- ②働かせたい教科特有の見方・考え方を明確にする。
- ③C評価をB評価に、B評価をA評価に引き上げる手だてを明確にする。

「スタンダードに基づく授業(ゴールへの道筋を明確に)」

- ④課題設定の工夫(本気で「やってみよう」と感じさせる、生徒の経験知をフル活用させる)
- ⑤主体的・対話的で深い学びに向かうことができる授業づくりを工夫する。
- ⑥学んだ過程(教科特有の見方・考え方をい)を自分の言葉で振り返ることができる。

「他者に説明する場の設定(根拠を明確に)」

- ⑦自分の考えを持ち、対話(仲間、教員、先哲等)を通して考えを広げたり深めたりさせる。
- ⑧**表現する機会を多く設定する。**(思考と表現を繰り返す、再構築させる。一往復半の往還)
- ⑨協働して課題解決することで協働することの良さを実感させる。(価値付ける)

図2 教科共通の取組（生徒用）

教科共通の取組(力がつく授業をつくりあげよう！)

「めあて(ゴール)を意識しよう！」

- ①「何が今日の授業のゴールなのか？」を意識する。
- ②何に着目し、何をを使ってどのように考えればよいのか見通しを立てる。
- ③わからないときにどう対処するか自分で選択できる。

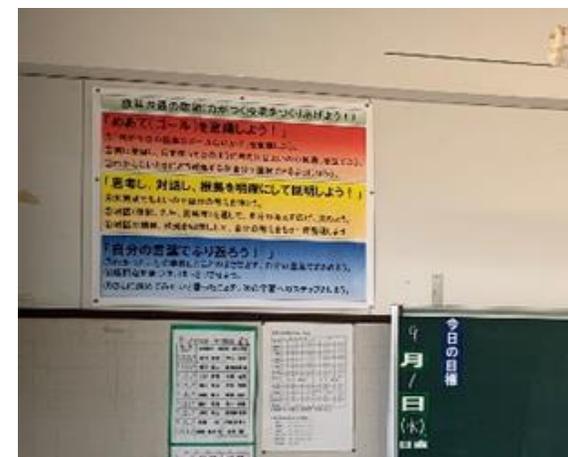
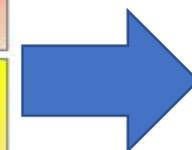
「思考し、対話し、根拠を明確にして説明しよう！」

- ④未完成でもよいので自分の考えを持つ。
- ⑤対話(仲間、先生、資料等)を通して、自分の考えを広げ、深める。
- ⑥対話の結果、根拠を明確にして、自分の考えをもう一度整理する。

「自分の言葉でふり返ろう！」

- ⑦わかったことや学習したことのよさなどを、自分の言葉でまとめる。
- ⑧疑問点を見つけ、はっきりさせる。
- ⑨さらに深めてみたいと思ったことを、次の学習へのステップとする。

教室に掲示し確認、授業で意識



研究主題・・・自ら学び よりよい解決を 創造できる力 の育成



- プレ全校授業研～芸中が取り組んでいる授業
全校で確認 1・2年生が3年生の姿から学ぶ
- 講師を招聘しての校内研 講師 深沢幹彦先生
年間3回
- 中学校ブラッシュアップ研究協議会
(国語 数学 社会 理科 英語)
- 探究的な学び推進事業指定事業
小中連携 各学年1回



2 徳（豊かな心）

【道徳意識調査】

道徳意識調査（中学生用）		回答児童生徒数		64		人		年度末				
NO	質問項目	人数				割合						
		(できている)	(できていない)	どちらかといえば	どちらかといえば	肯定的意見	(できていない)	どちらかといえば	どちらかといえば	肯定的意見	肯定的意見平均	
1	道徳の勉強は、好きだ。	19	36	5	4	64	55	29.7%	56.3%	7.8%	6.3%	85.9%
2	道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)について考えたい。	27	32	2	3	64	59	42.2%	50.0%	3.1%	4.7%	92.2%
3	家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている。	12	9	17	25	63	21	19.0%	14.3%	27.0%	39.7%	33.3%
4	自己将来の夢や目標を持っている。											
5	将来の夢や目標をもっている。	19	22	15	6	62	41	30.6%	35.5%	24.2%	9.7%	66.1%
6	人が困っているときは、進んで助けたい。	21	32	9	2	64	53	32.8%	50.0%	4.1%	3.1%	82.8%
7	いじめはどんな理由があっても、いけないことだと思う。	44	16	3	1	64	60	68.8%	25.0%	4.7%	1.6%	93.8%
8	学校の規則を守っている。	34	23	3	3	63	57	54.0%	36.5%	4.8%	4.8%	90.5%
9	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	22	23	16	3	64	45	34.4%	35.9%	25.0%	4.7%	70.3%
10	社会人になっても、自分たちの地域や高知県のためになる仕事をしたいと思う。	13	24	20	7	64	37	20.3%	37.5%	31.3%	10.9%	57.8%

3 家の人と道徳の話を読んだりしている。家庭で取り組む「高知の道徳」

4 自分には、よいところがあると思う。

5 将来の夢や目標を持っている。

9 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。

10 社会人になっても、自分たちの地域や高知県のためになる仕事をしたいと思う。

1

3

20%

3

4

6

自尊感情向上・読書習慣の確立

【自治活動 生徒会活動】



【図書環境整備 選書会】



3 健康安全



部活動



4 長期欠席・不登校対応

- 職員朝礼 企画委員会 職員会等などで、常に生徒の情報共有
- QUや学校生活アンケートなどを活用、結果を踏まえて2者面談の実施
- SSWやSCや福祉など外部関係機関との連携、支援会の実施
- **校内サポートルーム（あすなろ教室）の設置**
- 講師を招聘した校内研修 講師：是永かな子先生（年2回）
- **親子講演会 講師：今西一仁先生**

居場所づくり・絆づくりを意識した魅力ある学校づくりの推進

新規の不登校生徒を出さない！ 組織的な取組を進める。

ICTの活用



- ルールやマナーを身に付けさせる。
- より良い活用方法を探っていく。

5、防災教育

【避難訓練】



【安全点検】

安全点検 R3. 1学期					
No.	場所		状況		担当者
1	1F	職員昇降口	靴箱が固定されていない	観葉植物	浜田
2	1F	職員室	保管庫が固定されていない	ロッカー上の荷物	浜田
3	1F	保健室	○		森谷
4	1F	印刷室	保管庫が固定されていない		小松
5	1F	放送室	○		間城
6	1F	更衣室	ロッカー上の荷物	ハンガー多い	楠瀬
7	1F	校長室	特になし(絵画と校長の写真が防災的に気になる)		切詰
8	1F	中央玄関	防火扉の前に机・掲示物があり、非常時に開かない。		森谷
9	1F	トイレ	○		小松
10	1F	相談室 1	○		森谷
11	1F	相談室 2	○		森谷
12	1F	3年教室	東側出入口扉が動かすとこすれて音がする		濱口
13	1F	3年学習室	○		濱口
14	1F	技術室	機械類が固定できない		松本
15	2F	PC室	○		中村
16	2F	1年教室	○		橋場
17	2F	1年学習室	○		橋場
18	2F	売店	○		北川
19	2F	2年教室	ベランダ側の入口アルミが欠けている		中村
20	2F	2年学習室	ロッカーの上に穴あり		中村
21	2F	すみれ教室	○		北川
22	2F	理科室	○		中村
23	2F	東階段・踊り場	雨溜りのため水がたまっている		石川
24	2F	中央階段・踊り場	2~3階の踊り場の絵画落下の可能性		森谷
25	3F	調理室	○		中越
26	3F	被服室	○		中越
27	3F	みどり教室	○		間城
28	3F	図書館	古い机がぐらついている		平野
29	3F	美術室	後ろの棚の天板破損、台の板が破損	廊下側の窓(3つめの下に穴)	石川
30	3F	音楽室	天井が破損。壁紙の剥がれ。	ピアノが固定されていない。	間城
31	3F	教員室	電灯スイッチがつかさこみ。雨漏り。	準備室電灯なし。雨漏り。	間城
32	外回	渡り廊下	亀裂一箇所あり。		原山
33	外回	グラウンド	○		原山
34	外回	体育館	○		原山
35	外回	自転車小屋	○		中村
36	外回	外倉庫	○		小松
37	外回	校舎北側	○		松本
38	外回	プール	天井落下のため使用停止。		原山

小中連携 探究的な学び推進事業



○担当教諭を中心とした実践交流

○担当教諭のチーム会への参加
及び授業支援

○中学校教員(研修教諭)に
よる小学校英語専科授業





地域の力を活用

総合的な学習を通じて

地域について知り
地域について考え
地域に貢献する



探究的な学習
→求められる資質・能力の育成



【田植え（1年）】



地域の方と連携

地域で輝く生徒



地域行事でのボランティア活動

地域とともに輝く学校

～すべての生徒に居場所と学びを～



本年度もよろしく申し上げます。